

廃棄物の適正な処理と適切な施設運営

くりりんセンター

- 運転維持管理業務(基幹整備含む)委託(平成23~37年度)
- 収入の確保
 - ⇒ 使用料・手数料の確実な収納と有価物の売払
- 肉骨粉処理収入の将来
 - ⇒ 肥料化事業等に係る情報収集・検証等
- 焼却熱利用による発電事業
 - ⇒ 余剰電力の売電(北電、中島処理場)
- FIT適用終了後(平成29年6月)の売電手法の調査・検証



うめーるセンター美加登

- 運転維持管理業務委託(平成23~37年度)
- 乾燥固化物処理
 - ⇒ 散水処理後の水浄化により発生する固化物の処理



リサイクルプラザ

- 資源ごみの処理業務(分別・梱包)の委託
- 容器リサイクル協会拠出金の確保
 - ⇒ 品質基準の維持
- 設備更新及び処理量増加への対応
 - ⇒ 処理選別ライン更新整備(平成26~30年)



中島処理場

- 運転維持管理業務の委託(単年度契約)
- 老朽化対応
 - ⇒ 受入終了までの延命のための計画的な修繕
- 施設廃止計画の検討
 - ⇒ 解体時期、解体経費、跡地利用等



十勝川浄化センター

- 運転維持管理業務委託(平成26~29年度)
- 老朽化対応・適正な調査
 - ⇒ 計画的な修繕
 - (1市3町下水道部署との連携による北海道への更新整備要望)
 - ⇒ 下水道管路敷設箇所空洞調査業務
- 堆肥舎(帯広市岩戸地区(平成20年度)、音更町東和地区(平成26年度))
 - ・ 下水汚泥の緑農地還元の実現
 - ⇒ 屋根付堆肥舎の整備・十勝川流域下水汚泥利用協議会との連携



予算総額・前年度対比

(単位:千円)

| 会計名 | 平成28年度 当初予算 | 平成27年度 当初予算 | 増減額 |
|----------|----------------|----------------|----------|
| 一般会計 | 3,482,910 | 3,462,470 | 20,440 |
| 余熱利用事業会計 | 273,493 | 293,216 | △ 19,723 |
| 合計 | 3,756,403 | 3,755,686 | 717 |

予算編成と財政運営の基本姿勢

- (1) 廃棄物の適正な処理と適切な施設運営
- (2) 大型事業の円滑な推進と効率的な財源の活用
- (3) 長期的な財政見通しによる分担金の平準化
- (4) 自主財源の創出と事務事業の見直し

自主財源の創出と事務事業の見直し

- 地方公会計制度の整備
 - ⇒ H27.1.23総務省の通知により地方公会計制度への移行
 - 平成27年度から平成29年度の3ヶ年で実施
 - ・ 固定資産台帳の整備
 - ・ 財務書類の作成
 - ・ 地方公会計システムの整備(現行財務システムの改修)
 - ・ 財務書類の活用・公表方法の検討及び情報開示
- 十勝圏複合事務組合との統合
 - ⇒ 今後予定している統合に向け、両組合において残された課題の検証・整理

大型事業の円滑な推進と効率的な財源の活用

汚水処理施設共同整備事業

- 現し尿処理施設(中島処理場)の老朽化対応
- 下水処理工程を活用した受入施設等の整備
 - ⇒ 十勝川浄化センター内に増設
- 施設整備概要
 - ⇒ H26:基本設計、H27:詳細設計、H28~29:建設工事
- 搬入路の整備
 - ⇒ 帯広市道(西8号線)拡幅整備
 - 〈施工:帯広市、経費負担:組合〉
- 新施設運営の検討
 - ⇒ 運転方法、費用負担、組織体制等



一般廃棄物中間処理施設整備

- くりりんセンター整備の検討
 - ⇒ 平成38年度以降(平成37年度-長期包括的委託契約終了年)のあり方について調査業務を委託
- くりりんセンター基金の積立再開
 - ⇒ くりりんセンター等の大型施設の建設に伴う設備経費として、平成28年度から基金積立を再開



長期的な財政見通しによる分担金の平準化

- 長期的な財政見通し
 - ⇒ 大型建設事業に向け、分担金による基金の積立を再開
 - 平成37年度まで 基金目標額 37億5千万円**
 - (現行基金原資)
 - 余熱利用事業会計利益の3分の2、肉骨粉処理収入(平成27年度末残高見込)
 - 1,295,763千円
- 分担金の平準化
 - ⇒ 分担金(=義務経費)増減額の抑制のため、H27年度まで繰越金・繰入金の活用等により調整
 - 平成28年度からくりりんセンター基金積立を再開し、平準化を図る

衛生費の分担金を「15億7千7百万円」で設定

